

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2011年1月1日～2022年1月25日の間に、造血器疾患のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、臍帯血移植を行った後に心嚢水貯留に対し心嚢穿刺を受けられた方

【研究課題名】

同種造血細胞移植後の心嚢液におけるDNAウイルス再活性化の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

当院で同種造血細胞移植後に心嚢液貯留を認めた症例について、心嚢水貯留とDNAウイルス再活性化の関係について調査することを目的とします。

《研究に至る背景》

心嚢液貯留は同種造血細胞移植後の合併症として報告がありますが、その多くは原因不明です。本研究では心嚢穿刺を行った症例において心嚢液中から検出されたDNAウイルスについて調査し、心嚢液貯留にDNAウイルス再活性化が関与している可能性について検討します。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年4月25日 ～ 2023年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院・血液内科・内田直之のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当しません。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、心嚢水の DNA ウイルス PCR 検査を含む検査データ、画像データ、
薬歴

【研究代表者】

虎の門病院血液内科・内田直之

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院血液内科・内田直之

【利用する者の範囲】

共同研究機関：なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院血液内科・高木伸介

電話 03-3588-1111(代表)